

きみかげそう



美瑛町立美瑛小学校
学校通信
第 261 号
令和 4 年 4 月 27 日

【学校教育目標】 健康で、豊かな心を持ち、実践力のある児童の育成

「自ら学ぶ子（やる気） 支え合う子（こん気） たくましい子（げん気）」

どの子にも「笑顔」と「自信」を

美瑛小学校長 堀内 隆功

4月6日(水)には着任式及び始業式、そして翌7日(木)には入学式が行われ、初々しい1年生37名を迎え、全校児童247名で令和4年度がスタートしました。昨年度より7名減少し、通常学級も10学級から9学級と1学級少なくなっています。



今年度もなかなか新型コロナウイルスの収束が見えない中でのスタートとなりました。1年生教室も人数の関係で広いプレイルームを使用しています。5年生も引き続き特別教室を使用しています。中には始業式及び入学式から登校がかなわない児童もおり、学びの保障をはじめ、安心して登校開始できるような対応も求められています。まだしばらくは基本的な感染対策をしっかりと行いながら教育活動を継続してまいります。

さて、子供たちには、新年度のスタートにあたり、2つの『あ』について話しました。

一つは『あ』いさつ、もう一つは『あ』んぜん、です。

「あいさつ」は、元気と笑顔を運んでくれます。「あんぜん」は、特に交通事故等の危険から自分の命を守ってほしいと願っています。このことは、保護者や地域の方々とともに声をかけながら見守っていきたいと考えていますので、ぜひご協力をお願いいたします。

また、今年度の重点目標は、「学びを実感する子～どの子にも〈笑顔〉と〈自信〉を～」です。「笑顔」で過ごすためにも、目的や目標に向かう力を育てていくこと、仲間と認め合い支え合う関係をつくっていくことを大事にしていきます。「自信」を付けるためにも、学習の基礎基本をしっかりと身につけるとともに興味・関心も育てていきます。

毎日、笑顔で楽しく通ってほしい、学ぶ楽しさや喜びを感じてほしい。そして、仲間と学びながら自分の成長を実感し、自信につなげてほしい、と思っています。

一人一人の子供たちに精一杯の愛情を注ぎ、子供のよさや可能性を伸ばすことに一層努めていきます。そのことが、子供と教師の信頼関係を深め、また保護者や地域の皆様からの信頼にもつながるものと考えます。

子供の変容や成長が、保護者にとって「頼りがいのある学校」に、地域にとって「親しみのある学校」に、そして教員にとって「働きがいのある学校」につながっていくと考えています。

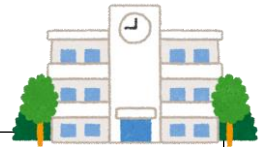
「地域とともにある学校」として、地域に開かれた信頼される学校であり続けるよう努力していきます。

今年度も、学校・家庭・地域が連携の絆を一層深め、共に知恵を出し、汗をかくことで、子供たちの夢や希望、目標にしっかりと根を育てていきたいと思ひます。



美瑛小学校の輝かしい歴史と伝統を受け継ぎながらも、時代の要請や保護者・地域の皆様の要請に応える新たな教育実践にも努めていきたいと思ひますので、今年度も変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

～1年間よろしくお願ひいたします。～



令和4年度 転入職員

教 頭 伊 藤 睦 郎
 【東神楽町立志比内小学校より】
 教 諭 久 保 真美絵
 【美瑛町立美馬牛小学校より】
 教 諭 西 岡 潤 二
 【旭川市立朝日小学校より】
 教 諭 高 垣 仁 隆
 【東神楽町立東神楽小学校より】
 養護教諭 石 田 明 子
 【美瑛町立美瑛中学校より】
 支援専門員 池 田 千佳子
 【美瑛町立美瑛東小学校より】
 (5/6～期限付き教諭)
 給食従事員 千 葉 美 香
 【美瑛町立美瑛東学校より】
 給食従事者 古 川 博 子
 【美瑛町立美瑛中学校より】
 給食従事者 村 形 やよい
 【美瑛町立美沢小学校より】

令和4年度 P T A役員

会 長 竹 内 幸 司
 副 会 長 二井田 航
 西 本 哲 史
 羽 山 陽 香
 監 査 石 澤 智 博
 村 井 隆 之
 事務局長 伊 藤 睦 郎
 書 記 幸 坂 裕 徳
 鏡 雄 介
 会 計 古 村 卓 也
 森 裕 晶



5月の主な行事

5月 2日 (月) 保護者面談
 5月 6日 (金) 保護者面談 (5年)
 5月 9日 (月) 保護者面談 (5年)
 5月10日 (火) 集団下校訓練
 P T A四役会議
 5月11日 (水) 金曜日課・委員会・朝会
 5月12日 (木) 聴力検査 (1・2年)
 教育相談 (5年)
 5月13日 (金) 聴力検査 (3・5年)
 5時間 教育相談
 5月16日 (月) 5時間 教育相談
 学納金引落日
 5月17日 (火) ～19日 (金)
 5時間 教育相談
 5月23日 (月) 運動会特別時間割開始
 運動会検討会議
 5月26日 (木) 内科検診 (1・3年)

令和4年度 美瑛小学校学校職員

校 長 堀 内 隆 功
 教 頭 伊 藤 睦 郎
 教 諭 土 屋 洋 輔 1年1組担任
 教 諭 柿 崎 清 澄 2年1組担任
 教 諭 増 子 淳 一 3年1組担任
 教 諭 松 村 由 貴 3年2組担任
 教 諭 西 岡 潤 二 4年1組担任
 教 諭 渡 邊 拓 真 4年2組担任
 教 諭 貫 田 航 5年1組担任
 教 諭 田 村 仁 6年1組担任
 教 諭 加 藤 周 大 6年2組担任
 教 諭 佐 藤 文 彦 ステラ学級担任
 教 諭 鏡 雄 介 ステラ学級担任
 教 諭 高 垣 仁 隆 ステラ学級担任
 教 諭 掛 川 雅 弘 ステラ学級担任
 教 諭 中 田 亜希子 ステラ学級担任
 教 諭 新 妻 葉 月 ステラ学級担任
 教 諭 久 保 真美絵 ステラ学級担任
 教 諭 山 本 帆 南 ステラ学級担任
 教 諭 福 嶋 里 香 ステラ学級担任
 特別支援教育コーディネーター
 特別支援教育コーディネーター
 教務主任
 教 諭 山 中 芳 子 少人数習熟度別指導教員
 教 諭 幸 坂 裕 徳 体育エキスパート教員
 教 諭 山 口 有 士 外国語専科教員
 教 諭 植 村 靖 志 ことばの教室担当
 教 諭 荒 谷 里 沙 特別支援教育コーディネーター
 教 諭 伊 山 亜砂子 ことばの教室担当
 教 諭 石 塚 雅 子 ことばの教室担当
 教 諭 池 田 奈津子 ことばの教室担当
 (5/6～育児休業)
 養護教諭 石 田 明 子 保健主事
 栄養教諭 中 田 朝 子 食育担当
 事務職員 森 裕 晶
 教 諭 村 上 智 子 育児休業
 教 諭 志 田 沙 和 育児休業
 教育助手 中 村 統 教育支援
 支援専門員 池 田 千佳子 教育支援 (5/6～期限付き教諭)
 支援専門員 松 下 澄 代 教育支援
 支援専門員 三 上 千 佳 教育支援
 教員業務支援員 結 城 詞 子 教職員サポート
 A L T マーティン コラレス ジョシュア シモン
 A L T スズキ ジェシカ ダニエル
 事 務 生 清 田 英 之
 公 務 補 江 藤 勲 之
 公 務 補 鈴 木 祐 之
 給食従事員 池 田 理 美 打 田 麻也子
 佐 藤 恵 澤 田 郁 代
 千 葉 美 香 古 川 博 子
 村 形 やよい



令和4年度 美瑛町立美瑛小学校グランドデザイン

【本校教育の指針】

- ・日本国憲法・教育基本法・学校教育法
- ・学校教育施行規則・学習指導要領
- ・北海道教育推進計画
「自立と共生」(6つの「目標」と30の「施策項目」)
- ・上川教育推進の重点
「安全・安心」「学力向上」
(「豊かな人間性の育成」「社会で生きる力の育成」「安心・安全に学ぶことのできる学校・地域づくり」)
- ・美瑛町教育振興基本計画・教育行政方針
「輝く個性と豊かな心で、美瑛の未来をたくましく拓く人を育む」
～夢を紡ぎ、心豊かに支え合う潤いのある、ふるさと美瑛を創りあげていくために～

〈児童の実態〉

- ・与えられた課題に対して素直に取り組む
- ・仲間と協力して取り組むことができる
- ・人前で話すことに苦手意識がある
- ・「自分の考えを伝わりやすく表現する力」や「自力で試行錯誤していきこうとする力」に課題

〈家庭・地域の実態〉

- ・校区が広域で、保護者の仕事も多種多様である
- ・価値観の多様化と併せて家庭環境も多様である
- ・子育てに対する関心は高く、少年団活動や習い事、塾に通う児童は多い

【目指す学校像】

- 児童にとって「**学びがいのある学校**」に
・一人一人のよさや可能性を伸ばす
・仲間とともに安心して学べる
- 教員にとって「**働きがいのある学校**」に
・常に研鑽し、成長する教職員
・チームとして、協働し、解決する教職員
- 保護者にとって「**頼りがいのある学校**」に
・子どもの変容を実感できる
・共に協力して取り組める
- 地域にとって「**親しみのある学校**」に
・学校との積極的な関わり

〈家庭との連携・協働〉

〈保護者〉

- ・参観日、保護者懇談、家庭訪問、行事参加
- ・スキー及び水泳学習への協力
- ・保護者アンケートの実施（前・後期）

〈PTA〉

- ・保護者間連携の構築
- ・運動会、学習発表会等への協力
- ・交通安全見守り活動への参加
- ・町P連、上南P連等への活動参加

【家庭に向けた支援】

◇子供の話への傾聴、努力への称賛、安全への声掛け

- 1 挨拶や交通ルール等社会規範の徹底
- 2 望ましい生活習慣の形成（早寝・早起き・朝ごはん）
- 3 家庭学習や読書への環境設定及び習慣形成
- 4 家庭での学習用端末利用への理解・協力
- 5 ゲームのルールづくりと情報モラルへの啓発

〈関係機関等との連携〉

〈教育委員会、行政関係〉

- ・施設・設備等、環境及び予算面での支援
- ・危機管理対応（関係機関との連携）
- ・美瑛町教育推進協議会の推進
- ・支援教育（検査・相談、SC、SSWの活用等）の推進
- ・なかよし児童館（保健福祉課）との連携

〈町教研、上教研〉

- ・町スポーツ交流会、芸術鑑賞会
- ・班研修活動

【本校の教育課題・推進の重点】

1 社会で生きる力

- ①確かな学力の育成…学習の基盤「言語能力」、「情報活用能力」、「問題発見・解決能力」の育成
- ②支援教育…教室のすべての子どもに「わかる、できる」を目指した工夫や配慮
- ③情報教育…ICTの効果的活用、デジタル教科書の活用、学習者用端末の活用と検証

2 豊かな人間性

- ①ふるさと教育…探究的な学び、教科横断的な学びの推進。外部人材の活用や体験的活動の推進
- ②人権教育…人権感覚の醸成とそれに基づく実践力、道徳教育との関連による指導

3 健やかな体

- ①体力・運動能力…運動の楽しさを体感できる授業作りと親しめる環境作り、エキスパート教員による全校的な体力向上の取組推進
- ②健康教育…栄養教諭との連携による食育指導、養護教諭との連携による保健指導及び保健学習

【学校教育目標】

「健康で、豊かな心をもち、実践力のある児童の育成」

自ら学ぶ子(やる気) 支え合う子(こん気) たくましい子(元気)

【中期目標】

「学ぶ力を育てる」

◇「何を学ぶのか」⇒資質・能力を伸ばす「カリキュラム・マネジメント」

◇「どのように学ぶのか」⇒「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善

◇「何ができるようになるのか」⇒「社会に開かれた教育課程」の編成・評価・改善

【年度の重点】

「学びを実感する子」

～どの子にも「笑顔」と「自信」を！～

◇「学びの実感」→「わかる喜び」、「できる楽しさ」から「生かせる実感」へ

【本校の経営課題・推進の重点】

1 家庭・地域との連携

- ①家庭教育支援…生活リズムの定着及び学習習慣や読書習慣形成に向けた連携
- ②コミュニティ・スクール…「育てたい子どもの姿」の共有と地域の教育力の活用に関する熟議

2 学校段階間の連携・接続

- ①幼小の連携・接続…「スタートカリキュラム」と「アプルーチカリキュラム」の整合。相互の実態の共有とカリキュラムの改善
- ②小中の連携・接続、小中の連携…中学校との 出前授業や乗入れ授業の推進、小学校間の授業交流（町内複式校等）

3 学校安全

- ①コロナ感染対応…感染対策に基づいた教育活動への校内の共通理解及び感染状況に応じた教育活動の修正
- ②危機管理…「生活安全」「交通安全」「災害安全」に関する基本マニュアルの理解、ふるさと学習（十勝岳等火山学習）における防災教育の充実

4 働き方改革

- ①組織マネジメント、業務管理…働き方改革推進校（3年目）の取組（推進チーム（前・後期コアチーム）による取組の重点化）

【経営方針】

1 重点の共有

- ①学習指導要領の理念（資質・能力の育成）の具現化に向けた取組
- ②ICT（学習者用端末を含む）の効果的な活用の実践的検証
- ③働き方改革における合理的及び組織的な業務の運営
- ④新型コロナウイルス対策下での教育活動並びに学びの保障

2 児童観の共有

- ①自主性・主体性の尊重～子供の心に火をつける
- ②児童と教師の信頼関係の構築～人権感覚をもつ
- ③キャリア発達を促す～個性と社会性をつなぐ

3 指導観の共有

- ①「主体的・対話的で深い学び」に向けた組織的な授業改善
- ②「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な学びについての研修推進

【評価指標】

1 学校評価（職員・児童・保護者）

- ・「楽しく学校に通っている」肯定的回答（100%を目標）
- ・「進んで宿題や家庭学習に取り組んでいる」肯定的回答 80%以上

2 全国学力・学習状況調査

- ・国語…要約等の記述の正答率（70%を目標）
- ・算数…記述式問題の正答率（全国平均以上、無回答を0に）
- ・児童質問紙…「自分にはよいところがある」の肯定的回答 80%以上
- ・「国語の勉強は好きですか」の肯定的回答 80%以上

3 全国体力・運動能力調査

- ・「長座体前屈」と「20mシャトルラン」全道平均以上
- ・「運動やスポーツをすることが好き」男女ともに 80%以上

4 授業アンケート

- ・「授業がわからない」の児童の否定的回答を0に
- ・「新しいことや知らないことを学ぶのは楽しい」の児童回答 80%以上

5 いじめアンケート（年2回）

- ・「いじめは絶対に許されない」100%

【目指す児童の姿】			
	自ら学ぶ子(やる気)	支え合う子(こん気)	たくましい子(元気)
知識技能の習得 生きて働く	◎学び方（学習規律、話し方・聞き方、学習の進め方）を身につける子	◎自分や他者のよさに気づく子 ○生命を尊重し、自然を愛する子	◎健康や安全に気をつける子 ○いろいろな運動に親しみ、技能を身につける子
素知の状態にも対応できる 思考力判断力表現力の育成	◎自分の考えを持って粘り強く取り組む子 ○正しい判断で、勇気をもって行動する子	◎自分の行動を振り返って考える子 ○みんなと協力し、助け合って生活する子	◎めあてに向かって粘り強くがんばる子 ○自分の健康・安全や体力の向上について考える子
学びを生きる社会生かす力 学びに向かう力・人間性等の涵養	◎学びを工夫する子 ○自信をもって自分のよさを表現する子	◎素直（誠実）に行動する子 ○相手の立場を考えて行動する子	◎最後までやり遂げる子 ○明るく希望をもって生活する子
[各教科] [特別の教科 道徳] [外国語活動] [総合的な学習の時間] [特別活動]			
学年・学級経営の充実			

〈地域との連携・協働〉

〈コミュニティ・スクール(学校運営協議会)〉

- ・経営方針の承認、学校運営及び教育活動への意見
- ・学校運営への支援（地域学校協働活動）

〈地域の教育資源〉

- ・社会見学、校外学習（工場、店舗、公共施設等）
- ・「ふるさと学習」等の推進（十勝岳ジオパーク、郷土学館「美宙」、日本で最も美しい村連合等との連携）
- ・「自然体感」「農業体感」「福祉体感」学習等の推進（大雪青少年交流の家、JA、福祉関係団体等との連携）
- ・図書館（司書）、読み聞かせボランティアとの連携
- ・交通安全教室、防犯教室、避難訓練、薬物乱用防止教室、情報モラル教室、租税教室、人権教室等
- ・地域行事への参加・協力（音楽行進等）
- ・応募作品（陶芸作品・福祉作文・絵画・ジオパーク作品等）の取組

〈校種間の連携・接続〉

〈保育園・幼稚園〉

- ・アプローチとスタート両面での接続（指導者間連携）
- ・低学年生活科での年長児との交流学習

〈小学校〉

- ・一日入学

〈中学校〉

- ・町教研活動（スポーツ交流会）
- ・町内複式校との交流学習
- ・参観日交流、町教研大会への参加
- ・町教育推進協議会による中1ギャップ解消の取組
- ・小学校出前授業（乗り入れ授業）の実施
- ・特別支援学級の交流学習

〈特別支援学校〉

- ・パートナーティーチャー要請訪問